

編集後記

特集「火星圏のサイエンス」はいかがでしたでしょうか。1970年代のバイキング計画で、火星には生命が存在しない(正しくは当時の装置レベルで検知できない)ことがわかり、意気消沈した地球外生命探査ですが、1990年代後半からの火星探査によって、過去の火星には液体の水が存在していた、そして、現在も地下には氷(一時的には水)として存在しているという証拠が続々と出てきており、過去の火星、現在の火星の地下圏には生命が存在するかもしれないという可能性が出てきました。さらに日本では、火星圏に探査機を送り込み、火星衛星から試料を地球へ持ち帰るとい

う計画(MMX計画)が検討されており、また、火星隕石の数・分析も充実してきており、火星圏(火星、火星衛星、火星周辺環境)への注目度が国内外で年々増してきている状況にあります。このような動向から、現状の火星圏の知見を集めて総合的な科学検討を行うとともに、将来的にどのような探査・観測が期待されるか、理論・実験的に追求すべきテーマは何かといった展望を議論したいと思い、今回の特集号を組ませていただきました。ということで、いかがでしたでしょうか。(玄田「火星圏のサイエンス」特集 ゲストエディター)

編集委員

和田 浩二 [編集長]

杉山 耕一郎 [編集幹事]

玄田 英典 [特集「火星圏のサイエンス」ゲスト・エディター]

生駒 大洋, 上相 真之, 岡崎 隆司, 奥地 拓生, 木村 勇気, 黒澤 耕介, 小久保 英一郎, 白石 浩章,
関口 朋彦, 瀧川 晶, 田中 秀和, 谷川 享行, 成田 憲保, はしもと じょーじ, 本田 親寿, 三浦 均,
諸田 智克, 山本 聡, 渡部 潤一

2018年9月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第27巻 第3号

定 価 一部 1,750円(送料含む)

編集人 和田 浩二(日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

印刷所 〒501-0476 岐阜県本巣市海老A&A日本印刷株式会社

発行所 〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-16 芝大門MFビルB1階

株式会社イーサイド登録センター内 日本惑星科学会

e-mail : staff@wakusei.jp

TEL : 03-6435-8789 / FAX : 03-6435-8790

(連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618 / FAX : 03-3475-5619

e-mail : kammori@msh.biglobe.ne.jp

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。